

【概要版】野島活性化基本構想

1 本基本構想の目的

本基本構想は、野島の持つ自然や文化といった地域資源の持続的な活用により、茜島シーサイドスクールの魅力向上を図るとともに、野島小・中学校を核として、こどもから高齢者まで多世代による交流の拡大と活性化の好循環を創出し、「未来に向けた島づくり」を目指すために策定するものです。

2 野島のめざす姿

多世代が交流できる元気な島づくり

野島小・中学校において事業展開している「茜島シーサイドスクール」は、島民にとって地域交流の重要な役割を担っているところです。

令和8年度から受入対象を全県化している野島小・中学校を核とすることで、こどもから高齢者まですべての世代が交流する場が生まれ、野島の活性化につながります。

野島を舞台に人々がふれあいながら野島の魅力ある地域資源を再認識できる環境を整えることにより、元気な島づくりを目指していきます。

3 基本理念

野島のめざす姿として「多世代が交流できる元気な島づくり」を実現するため、「野島で学ぶ」、「人々がふれあう」、「力を合わせる」、「未来へ引き継ぐ」を基本理念として設定し、こどもが主役、多世代がいきいきと活躍する島づくりに取り組みます。

4 基本目標と施策

基本理念を具体化するため、次の（１）から（３）の基本目標を施策の柱とし、具体的な施策を設定します。

（１）茜島シーサイドスクールの魅力の向上

- 野島の強みを生かした授業づくり
 - ・野島の自然や文化、伝統などを題材とした授業を取り入れた島ならではの学びの場の向上
- 宿泊ができる学校づくり
 - ・宿泊学習やクラブ合宿が可能な宿泊スペースの整備
- 魅力的な情報発信
 - ・ホームページやSNSを通じた学校活動の積極的な発信の実施
- 児童生徒が通いやすい体制づくり
 - ・防府駅・三田尻港間のマイクロバス送迎など

（２）野島の利便性の向上

- 学校を中心とした島づくり
 - ・学校敷地に野島漁村センターや野島診療所などの公共施設を移転することや地域交流施設を一体的に整備することを検討
- 「住みたい人」への支援
 - ・野島の魅力発信を行うとともに、「野島に住みたい」と思う人に対する支援策を検討
 - ・空き家など未活用資産について希望者が活用しやすい仕組みづくりの検討

(3) 野島の魅力の再発見

資料1

- 野島の強みを生かした交流イベントの開催
 - ・野島ならではの魅力を生かした交流イベントの開催
 - ・こどもから高齢者まで、多世代が集い交流できる場の創出
- 多世代が交流できる空間づくり
 - ・魅力ある港づくり（地域資源を活かした魅力の発信、ウェルカム看板設置、芝生広場の整備、高齢者がいきいきと利用できるウォーキングコースの整備など）
 - ・公共施設の集約化にあわせ、地域交流施設の併設整備を検討
- 交流イベントなどの担い手の確保
 - ・民間事業者との連携
 - ・地域おこし協力隊を中心として、地域住民、ボランティアなどが、参加しやすい仕組みづくりの検討
- 野島における事業・活動の支援
 - ・自然豊かな野島の環境で「仕事をしたい」、「商品開発をしたい」、「活動をしたい」と思う人の呼び込み

5 島づくりイメージ



6 スケジュール

項目	R8	R9	R10	R11	R12~
茜島シーサイドスクールの魅力向上	児童生徒の受入対象全県化、バス送迎、宿泊環境整備				
地域交流イベントの実施	交流イベントの更なる充実（定期開催）				
環境整備（港、メイン道路周辺）	設計・整備				
地域交流拠点の整備・公共施設の集約化の検討	検討・整備				